

倉田哲郎さんの 重点プラン

子どもに投資！子どもを大事に！子どもを育てる！ 子育てしやすさ日本一！！

箕面が将来も活気ある“まち”であり続けるために、子どもたちが健やかにたくさん育つことが必要です。子育てしやすさ日本一をめざします。

例えば…

- 子どもの医療費助成の対象年齢を拡大します
- 小中学校の教育内容を充実し、教育環境を整備します



緑を守る！緑を増やそう！緑と暮らす！ 緑・住みやすさ最先端！！

箕面のまちを特徴づける一番の魅力・特徴は、山の緑に代表される豊かな自然環境と良好な住環境です。こうした魅力を守り、さらに発展させます。

例えば…

- 山の緑・街なみの緑・農地の緑を守ります。
- 路線バスの利便性向上に取り組めます。



お年寄りから子どもまで、 安心・支えあい最優先！！

お年寄りから子どもまで、障がいのある人もない人も、誰もが互いに優しく支えあい、安心できるまちづくりを進めます。

例えば…

- ご高齢の方々が元気に安心して暮らせるよう、地域支えあいの活動を進めます。
- 池田・豊中の市立病院、国立循環器病センター、阪大病院などとの連携を強化し、医療サービスを充実します。



みんなの市役所元気印！！

リーダーシップを発揮し、職員が市民のために能力を最大発揮できる市役所に改革し、市民・利用者の視点で市民サービスを向上させます。

例えば…

- 身近な場所での住民票発行や、繁忙期の休日開庁など、便利で使いやすい市役所にします。
- 税金を1円たりとも無駄にしないコスト意識を徹底し、市役所業務を見直します。



さあ、まっすぐに「新しい箕面の明日へ！」

くらた てつろう 倉田哲郎さん 34歳

プロフィール

- 昭和49年(1974年)静岡県清水市に生まれる
- 平成 9年(1997年)東京大学法学部卒業 郵政省入省
平成13年(2001年)から総務省
- 平成15年(2003年)から箕面市役所に勤務
「改革」と「政策」を担当
- 箕面市役所では、「行政評価・改革推進委員会」発足
など「変化の波」を起こす一方、「子ども部」「地域振
興部」の創設や、市民の側に立った「総合窓口」の実現
など、「新しい時代」にふさわしい行政へと行革を進めた。
- 平成18年(2006年)総務省に戻るも、
慣れ親しんだ箕面の地で地方自治の仕事を志し、
平成20年(2008年)3月退職。
- 趣味・特技は、日本泳法(水府流太田派)
日本水泳連盟主催の全国大会では団体戦優勝。
- 家族は、箕面で出会った妻と、平成19年(2007年)
9月に箕面で生まれた息子。



倉田さんを応援します

箕面を支える子どもたちのために… 小野原東 坂東さん

私は倉田哲郎さんと同じ34歳です。小さい頃から箕面が大好きで、妻と子どもの家族4人で小野原に住んでいます。20年前、周辺はのどかな田園風景でしたが、近年は開発が進み、とても利便性の高いまちに生まれかわりつつあります。自然が減っていくのはさびしいことですが、小さな子どもがいる私たちのような家庭は、同世代の家庭が増えるという期待もあります。実際、若い家族が増えてきていて、私の子どもの頃のように、子どもたち同士、近所のいろんな友だちと遊べるようになってきてとてもうれしく思っています。「若い世代を増やし、活気あふれるまちにしていく」という倉田さんの主張は大変重要なことだと思います。

私は、倉田さんのリーダーシップと実行力に期待しています。これからの箕面を支える子どもたちのために、すばらしいまちづくりをしてください。

34歳の日記 <http://blog.kurata.tv>

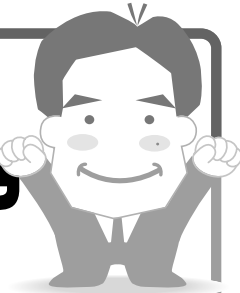
検索 [倉田哲郎さんのブログを検索](#)

携帯電話でも見られます <http://mobile.kurata.tv/>



“若さで挑戦”×“市民のチカラ”＝“箕面の未来”

まちづくりニュース “市民のチカラ！”



No.3

倉田哲郎さんのブログへGO 検索→ 34歳の日記 <http://blog.kurata.tv>

新しい箕面は、今日、ここから

くらた てつろう 倉田哲郎さんを迎えて 1000人を超える感動が グリーンホールを揺るがす

7月17日
箕面の明日をつくる会主催
講演会(速報レポート)



いよいよ、箕面が変わる日が近づいてきた。立ち見で満員の講演会に参加してそう思った。

前箕面市教育長の仲野公さんは、今の市政を鋭く批判。倉田哲郎さんの古くからの友人で、全国最年少市長(35歳)である國定勇人さん(新潟県三条市長)からは、「“全国最年少市長”のバトンタッチ」を目指しての力強い応援メッセージが。そして、倉田哲郎さんは、箕面の人とまちの素晴らしさ、箕面市政に対する思いを熱く熱く訴えた。

その後、同じ20～30歳代の市民3名からの応援メッセージに続き、たくさん子どもたちからの手作りの首飾りや花束のプレゼントが…。子どもたちに囲まれた倉田哲郎さんの姿がまぶしかった。



しかしチャレンジャーである倉田哲郎さんにとって、まだまだ立ちはだかる現職市長の壁は厚く、道のりは遠い。

國定市長が語ったように、20年、30年ぶりの友人・知人にも早速声をかけて、なんとか支援の輪を広げなければ。なんとしても、8月、箕面の変革の風を「市民のチカラ」で吹かせるために！
(箕面 松淵さん)

特集

倉田哲郎さんの「子育て政策」

子育てしやすさ 日本一のまちへ!!

箕面が将来も活気ある“まち”であり続けるために、子どもたちが健やかにたくさん育つことが必要です。倉田哲郎さんは「子育てしやすさ日本一」をめざします。

少子高齢化は全国的な課題です。この箕面も例外ではありません。



ご高齢の方々が、今を安心して暮らしていただけるだけでなく、これから先5年後も10年後も安心して暮らしていくために、まち全体が活気を持ち続けるために、箕面でしっかりと若い世代と子どもたちを増やしていく必要があります。

ご高齢の方どうしが長寿を祝いあえるだけでなく、子や孫の世代とも一緒に「長生きしてよかったね」と祝いあえるまちに。

まち全体の活気・体力を伸ばすため、「子育てするなら箕面だね!」「子育てしやすさ日本一!」をめざして、倉田哲郎さんは全力で取り組んでいきます。



乳幼児医療費の助成を 就学前児童まで 拡大します

子どもはいろいろな病気にかかったり、思わぬけがをしてきたり、医療のお世話になることが結構あります。特に低年齢の子どもは体調が急に変わることも多いため、子どもに対する医療費助成が充実していることは、子育て世代には心強いものです。

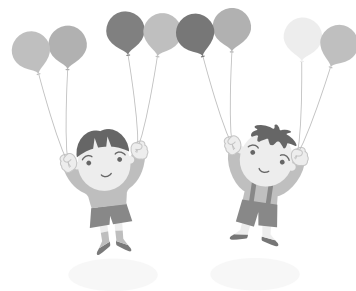
子どもが病気になったとき、経済的負担を気にせず安心して医療機関にかかることができるように、乳幼児医療費助成の対象年齢を引き上げ、就学前児童まで拡大します。さらに、就学後の児童に対する助成についても拡大を検討します。



小中学校の 学習環境を充実させます

子どもたちが快適に学び、遊ぶためには、まず安全で充実した小・中学校施設にすることが大切です。エアコンの設置やトイレの整備なども必要です。安心して学べる環境づくりのため、校舎の「耐震化」を順次進めます。

また、少人数指導を行うなど教育体制の充実や、学童保育の対象拡大、中学校デリバリー給食など、子どもたちが学ぶための環境を充実させます。



“未来子ども基金”を 創設します

箕面の未来を担う子どもたちのために、“未来子ども基金”を創設します。

この基金は、学校や地域・家庭を問わず子どもたちが伸び伸びとそして生き生きと箕面のまちで成長していくことを支援する新たな施策に活用していきます。この施策は、市民意見を募集するなど、市民みんなで箕面の子どもたちのことを考えて作っていきます。

倉田哲郎さんにココが聞きたい!

今年8月の箕面市長選挙にチャレンジする「倉田哲郎」さんに対して「ここが聞きたい!」という市民の皆さんからの声が多く寄せられています。それらの疑問を集約した形で「倉田哲郎」さんにお答えいただきました。



子どもたちといっしょに楽しめるショッピングゾーンは増えますか?
(桜ヶ丘 井上さん)



市民の皆さんとの協働で、みんなが集まる市街地の活性化に向けて取り組みます。箕面地区では、平成25年までに箕面駅前広場、アーケード、駐車・駐輪場、街路等の整備を実施します。みのおサンプラザ1号館は、市民の皆さんをはじめ箕面公園に来られる観光客にも魅力あるゾーンにしていきます。また、桜井地区も、駅周辺の整備を行い、家族がふれあえ安心して楽しめる商業コミュニティゾーンを作っていきます。



子どもたちとかかわるボランティア活動をしています。国際交流や人権の取り組みについてどのように考えておられますか?
(粟生新家 川崎さん)



子どもたちをはじめ暴力(DV)といった人権侵害が社会問題化しています。箕面には外国人市民も多く、子どもの時から異文化にふれるチャンスも多くあります。互いの違いを理解し、自分らしく生きられる社会を、市民の皆さんと協働して実現していきます。



子どもたちに今のすばらしい環境を残すために、倉田さんは、ごみ問題をどのように考えていますか?
(如意谷 中原さん)



ごみ問題は、環境問題であると同時にコミュニティの問題です。ごみ出しもカラス対策も、教育や防犯と同じく地域での見守りが必要です。地域の底力を信頼して、市民と職員が顔をつきあわせて取り組むことが大切だと思います。

また、豊中市などはごみ袋が1枚目から有料ですが、箕面市の指定ごみ袋はまず一定量が無料配布され、超過分が有料となる仕組みです。この仕組みが導入されてから、市民の方々お一人おひとりの努力により、全体で2割のごみ減量が達成されています。さらに市民満足度アンケートでは、近年、有料制への反対よりも賛成が上回りました。

これらの結果は、まさに箕面にお住まいの方々の意識の高さと、“市民のチカラ”を示しているものと感じます。こうしたことから考えると、ごみ袋については現行制度を継続することを基本として、生活実態にあわせた工夫など、きめ細かい改善策を考えていくべきだと思っています。